# 平成31年度「バリアフリーフェスタかながわ」について

資料２

資料２

過去の県民会議で整理した考え方と、実行委員会のアンケートにて示されたご意見を基に、標記会議の開催場所について検討した。

１　過去に整理した考え方

　（１）フェスタを継続し、実行委員会形式で進める。

（２）立地がよく、バリアフリー整備された集客力のある施設を探す。

　　（３）他のイベントとの共催を視野に入れ、同時開催ができる場所を検討する。

　　（４）普及啓発の視点から、普段バリアフリーの街づくりに関心が薄い人々を集客可能なことも考慮する。

２　実行委員会で示されたご意見等

（１）今年度の開催場所について、利便性やバリアフリーに関心の薄い方にも立ち寄ってもらえた点について好意的な意見を多数頂いた。一方で、子どもの来場が少なかったことから、より気軽に来られるような場所を望む声意見も挙がった。

　　　また、県内の様々な場所で開催を望む意見も頂いた。

（２）今年度は他イベントとの同時開催であり、そのことについて集客の観点や、来場者が多くの体験をできることについて、好意的な意見が多数寄せられた。

３　県の考え方（案）

　　１と２の状況を考慮し、県の考え方を次のとおり整理した。

　　（１）引き続き昨年度までの考え方は継続する。

（２）今年度は横浜新都市ビル（そごう横浜店）９階のセンタープラザ等で実施し、利便性や集客、バリアフリーに関心の薄い方にも立ち寄ってもらえた点について好意的な意見が複数あったことを踏まえ、立地、集客、普及啓発の観点から、来年度も同会場での開催を検討することとしたい。

（３）また、集客や企画、事務面の連携が期待できるため、来年度も他イベントとの同時開催を検討することとしたい。

４　来年度の会場候補

（１）場所

横浜新都市ビル（そごう横浜店）９階センタープラザ等

（住所：横浜市西区高島２－18－１（最寄り駅：横浜駅））

（２）日程

１１月２日（土）

（３）備考

ア　横浜駅からアクセスがよく、商業施設の中にあり、様々な人が訪れる。

イ　同日県主催の介護フェアも開催予定のため、連携を期待できる。